

人がほほえみ、地域が輝く“ほっとする、ふくしま”

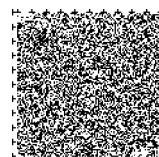


福島県総合計画

ふくしま創造プラン

2010・2014

概要版



福島県



福島県知事
佐藤 雄平

みんなが“ほっとする、ふくしま”に

人間社会の基本は、人と人とのつながりであり、ともに助け合い、支え合いながら暮らしていくことです。

私はいろいろな機会において、本県には温かな県民性や、思いやりにあふれた地域社会のきずなが今もしっかりと息づいていることを実感しています。そして、この誇るべき本県の宝を次の世代にもしっかりと引き継いでいかなければならないと強く考えてきました。

「いきいき 福島創造プラン」でも、「人と地域」をととても大切なもの、県づくりの根幹となるものと位置づけました。

県民の皆さん一人ひとりが笑顔にあふれ、ふくしまを支える主役としていきいきと活躍することで、地域が輝いて、みんなが“ほっとする、ふくしま”を、一緒につくっていきましょう。

いきいき 福島創造プラン とは

計画の期間

平成22(2010)～26(2014)年度の
5か年計画

子どもたちが親の世代となる30年程度
先を展望

計画の特徴

- 福島全体の指針となる計画
- 長期的視点での県づくり、柔軟な施策展開が可能な計画
- わかりやすい計画
- 実効性を重視した計画

ふくしまの特性と時代潮流

ふくしまの特性

- 特色あふれる県土構造
- 多極分散型の県土構造
- 有利な地理条件
- 交流を支える社会基盤
- 多様な産業構造
- 恵まれた自然、地域資源
- ゆとりある生活環境と温かな県民性



● 薄磯海岸



● あぶくま高原道路



● 会津塗



● 教育旅行(りんごの収穫体験)

時代潮流

- 人口減少・超高齢社会の本格到来
- 経済のグローバル化の進展
- 食料・資源問題などの顕在化
- 地球温暖化など環境問題の深刻化
- 高度情報化社会の進展
- ライフスタイル・価値観の多様化
- 安全と安心に対する関心の高まり
- 分権型社会への移行

ふくしまの人口と経済

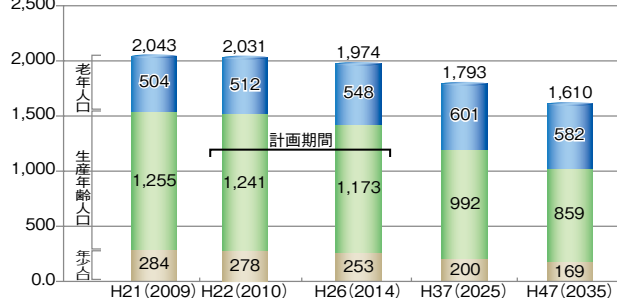
人口

H21
204.3万人
(H21.10.1現在)

H26
197万人程度

H47
161万人程度

人口の見通し
単位:千人

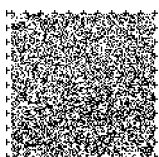


経済(県内総生産(名目))

H19
7.88兆円

H26
7.8～8兆円程度

H47
8.6～9兆円程度



県民一人ひとりが住んでいる地域のすばらしい点を再認識することは、地域に対する自信、誇り、愛情につながります。

そして、地域の持つ魅力を誇りと愛情をもって磨き上げ、さまざまな地域が輝くことが、いきいきと活力にあふれた県づくりにつながっていきます。

基本目標とめざす将来の姿

基本目標

人がほほえみ、地域が輝く “ほっとする、ふくしま”

県民一人ひとりが笑顔にあふれ、いきいきと活躍することによって、地域がさらに輝き、県民はもとより、本県を訪れる人たちにとっても、癒され、“ほっとする、ふくしま”を県民とともに創り上げていきたいとの思いを込めています。



めざす将来の姿

30年程度先を展望して実現を目指すふくしまの姿

【ふくしまの礎】人と地域が輝く「ふくしま」

子どもたちが心豊かにたくましく育つとともに、県民一人ひとりが持つ能力や可能性を開花させるためのさまざまな「場」が用意され、誰もが生きがいを持って活動しています。

また、地域住民による主体的な地域づくりが行われ、分権型社会に対応できるようになっているとともに、それぞれの地域の特色が十分に発揮されることによって、県全体がいきいきとした輝きを放っています。

【活力】いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

農林水産業や力強い製造業を始めとした本県に存在する多様な産業、資源そして知恵が結びつくことによって、付加価値の高い産業が躍動するとともに、県内外や海外との交流の拡大によって、人やモノの多様なつながりが生まれています。

【安全と安心】安全と安心に支えられた「ふくしま」

地域社会のきずなや世代を超えたつながりに支えられ、保健・医療・福祉サービスが充実し、生涯を通じて健康でいきいきと過ごすことができ、生活のあらゆる場面において、必要な備えと情報共有がなされ、安全と安心に支えられた暮らしができるようになっています。

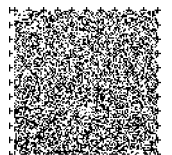
【思いやり】人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

県民一人ひとりが周りや県内外の人々、さらには次の世代への「思いやり」を大切にし、お互いに支え合い、責任を持って行動することで、一人ひとりが大切にされる社会となるとともに、自然環境が次の世代に美しい姿で引き継がれています。

ふくしまを支える3本の柱

基本姿勢

- チャレンジ
- 多様性・総合力の発揮
- 魅力の再認識・発信



ふくしまの礎 いしすえ

人と地域

人と地域が輝く「ふくしま」

人と地域 1 子どもから大人まで一人ひとりの輝きと生きがいが見いだせる社会の実現

- 子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現
- 人々がはつらつとして活躍する社会の実現
- 文化やスポーツなどによる活躍の場づくり



●元気に遊ぶ子どもたち



●環境教育や食育のための「田んぼの学校」

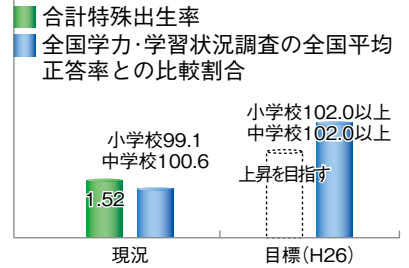


●農村女性による直売活動

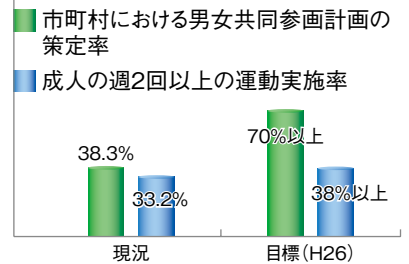


●声楽アンサンブルコンテスト全国大会

安心して子どもを生み育てることができる社会づくりが進展
確かな学力、思いやりの心などを身につけ健やかに成長



能力を発揮できる環境づくりが進み、一人ひとりが新たにチャレンジ
多くの人々が文化活動やスポーツ活動に参加



人と地域 2 魅力と個性にあふれた地域社会の実現

- 力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応
- 地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域
- 個性的で活力に満ちた電源立地地域



●デマンド交通の利用(おだかe-まちタクシー)



●大学生による集落活性化

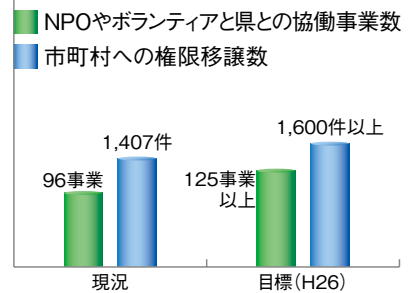


●マリーゼの選手による子どもサッカー教室

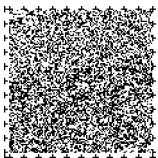
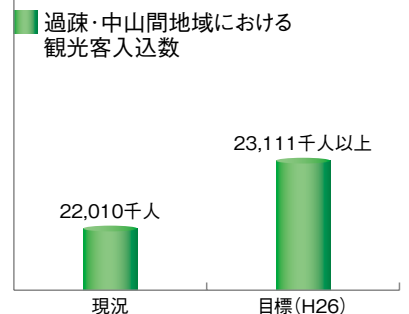


●只見川電源流域

住民による主体的な地域づくりが進展
地方自治の担い手としての市町村の力が向上



過疎・中山間地域や電源立地地域で地域資源を生かした産業が発展



ふくしまを支える3本の柱

活力

安全と安心

思いやり

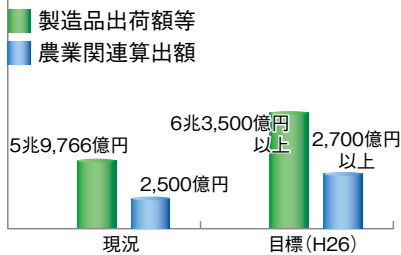
【柱Ⅰ】いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

活力 1

地域に根ざした力強い産業の育成

- 力強い産業の多彩な展開
- 農林水産業の持つ底力の発揮
- 産業を支える多彩な人々の活躍

環境・新エネルギー産業など成長産業が集積、地場産業も発展
農林水産業の生産力が向上、農商工連携、地産地消、販路拡大も進展



●自動車産業の集積



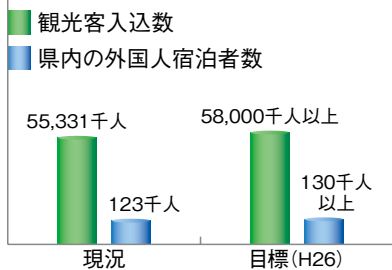
●有機農業者の育成

活力 2

多様な交流ネットワークの形成

- 多様な地域との交流・連携と定住・二地域居住の推進
- 魅力あふれるふくしまの観光と国際交流の推進
- 交流と連携強化のための基盤づくりと活用

地理的優位性、温かな地域性が発揮され、にぎわいづくりが進展



●子どもたちの教育旅行



●県南地域と南会津地域を結ぶ甲子道路

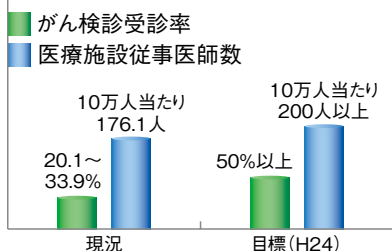
【柱Ⅱ】安全と安心に支えられた「ふくしま」

安全と安心 1

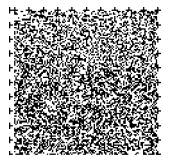
誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

- 生涯を通じた健康づくりの展開
- 安心できる地域医療提供体制の充実
- 高齢者や障がい者に対する多様な福祉サービスの充実

生涯を通じた健康づくり活動が進展
医師の確保と医療機関等の連携など医療提供体制の整備が進展



●地域における医療活動



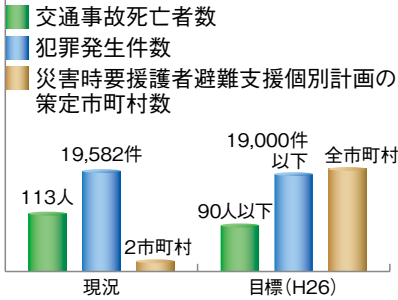
【柱Ⅱ】安全と安心に
支えられた「ふくしま」

安全と安心
2

さまざまなリスクに対して
安全で安心な社会の実現

- 身の回りの安全と安心の確保
- 災害など不測の事態に対する備えの充実
- 安全で安心な生活を支える社会基盤の提供

交通事故や犯罪の件数が減少するなど身の回りの安全と安心が向上
災害に弱い立場の人でも安心して暮らせる防災体制の整備が進展



●住民による自転車防犯診断



●福島県総合防災訓練

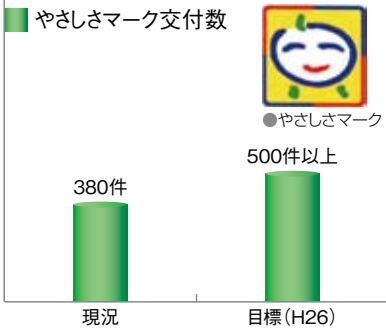
【柱Ⅲ】人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

思いやり
1

支え合いの心が息づく
社会の形成

- 多様な人々がともに生きる社会の形成
- 思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現

人にやさしいまちづくり、支え合いの心が息づく社会づくりが進展



●歩行が困難な方のための「おもいやり駐車場」



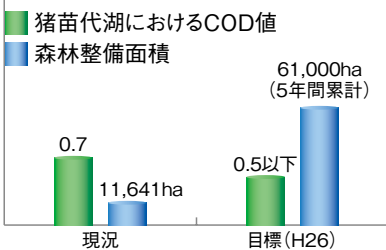
●国際交流のためのイベント

思いやり
2

美しい自然環境に
包まれた持続可能な
社会の実現

- 美しい自然環境の継承
- 環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換

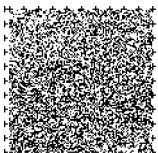
猪苗代湖の水質が改善するなど、美しい自然環境の保全・向上
低炭素社会に向けた取組みが進み、温室効果ガスの排出量が抑制



●ボランティアによる猪苗代湖岸でのヨシ刈り



●小学生による間伐体験



地域別の重点施策

七つの生活圏それぞれの観点から各地域で重点的に推進する施策

会津地域

- 地域づくりに貢献する新たな観光の推進
- 地域特性を生かしたさまざまな交流の促進
- 地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興
- 自然環境、景観、文化の保全・継承と活用

県北地域

- 個性が輝く地域活力の創出
- 持続可能な農林業の確立
- 地域の特徴を生かした多彩な産業の振興
- 安全で安心な生活を支える基盤の整備

相双地域

- 多彩な地域資源の連携による広域交流圏の形成と人づくり
- 電源立地地域の特性や物流基盤の整備効果を生かした産業の集積
- 地域特性を生かした農林水産業などの振興と地域活性化
- 安全で安心なくらしや交流を支える基盤の整備・充実

県中地域

- 未来を拓き、地域の活力を支える産業の集積と高度化
- 「福島空港」と地域資源を活用した交流人口の拡大
- 「地域の宝」を生かした過疎・中山間地域の振興
- 豊かな自然環境と調和のとれた地域社会の形成
- 安全で安心に暮らせる地域社会の形成

南会津地域

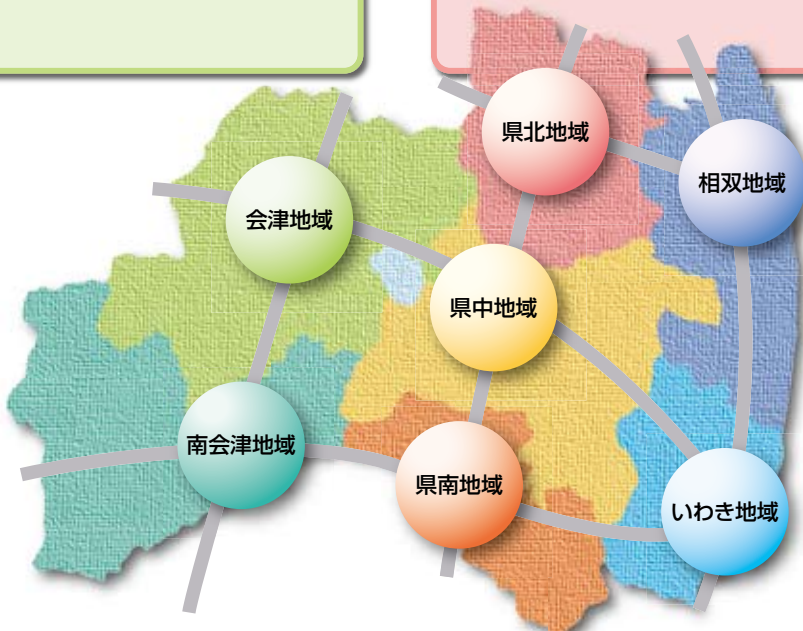
- 地域特性を生かした経済の活性化
- 集落機能の維持に対する支援等
- 地域資源を活用した交流人口の拡大
- 地域の自然環境や歴史的景観の継承
- 生活基盤の維持・整備による安全で安心な暮らしの確保

県南地域

- 地域の特性を生かした活力ある産業の振興
- 地域の持続可能な発展を担い、自らの手で地域を牽引できる人づくり
- 広域連携による地域内外との交流の促進
- 自然にあふれ人々がいきいきと心豊かに暮らせる源流の里づくり

いわき地域

- 多様な地域資源を生かした交流の促進
- 創造的で活力のある産業の展開
- 豊かな自然環境と調和した多彩で魅力ある生活圏の形成
- 人と人がつながる安全で安心な環境づくり

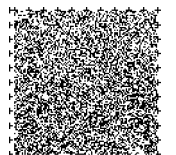


● 個性ある七つの生活圏に基づいた地域づくり

● 生活圏を越えた機能の補完・連携

● 近隣地域との広域連携

- 県内における連携
- 県域を越えた連携



計画の推進のために

1 計画推進に当たっての考え方

県民、民間団体、企業、市町村、県など、本県で活動するさまざまな主体が、本県のめざす将来の姿を共有し、その実現のために、それぞれの役割を認識し、力を合わせて取り組んでいくことが必要です。

2 県民運動の展開

県民運動を展開することにより、本計画の効果的な実現を図ります。

3 実効性の確保

計画を着実に推進するため、毎年度、重点施策の達成度を指標などにより点検・評価し、取組みの改善を行うとともに、進行管理結果を公表し、県民と情報を共有するなど、実効性の確保を図ります。

4 重点プログラム

限られた財源で最大限の効果を得るため、体系を横断した観点で、当面特に重点的に取り組むべき課題に対応したものを重点プログラムにまとめ、戦略的な取組みを進めます。

重点プログラム

未来の主人公であるふくしまの子どもたち育成プログラム

ふくしまの特性を生かした産業の総合力発揮プログラム

地域活性化を導くふくしまの低炭素社会づくりプログラム

ふくしまのにぎわい創出プログラム

健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

※緊急に対応が必要な課題が生じた場合は、臨機にプログラムを追加設定します。

お問い合わせ先

福島県企画調整部総合計画課

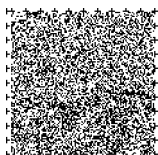
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号 TEL024-521-7809(直通)

E-mail sougoukeikaku@pref.fukushima.jp

詳しくは、ホームページをご覧ください。

いきいき ふくしま創造プラン

検索



〔SPコード〕

この中に、文字情報が記録されています。
専用の読み取り装置を使って、音声で読み上げます。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。